

# 内水面漁協の活性化に関する研究－効果的な多自然川づくりの普及に向けた取り組みの検討－ (令和4年度)

吉田豊・小原明香

## 要 約

多自然川づくりの考え方や優良事例について、河川管理や利水、水産に係る施策を立案して実施する行政職員で共有し、今後の施策等に生かす契機をつくることを目的に、「多自然川づくり研修会」を2022年11月14日に県土整備部河川課と水産試験場で共催した。本研修会には85名が出席し、多自然川づくりについて学ぶとともに、県内各地での施工事例について、講師からアドバイスを受ける時間を設けた。本研修会の開催により、出席者の多自然川づくりへの理解が進んだことが確認され、その考え方が今まで以上に現場に反映されることが期待される。多自然川づくりをさらに普及させるには、座学だけではなく実際の設計や施工を行い、効果を検証することを繰り返していくことが重要である。そのため、今後は河川行政と水産行政に加え、漁場を管理する漁協関係者と共同でこうした取り組みを進めていく必要がある。

本研究は（一財）東京水産振興会および（国研）水産研究・教育機構水産技術研究所「内水面漁協の活性化に関する研究 研究成果報告書」の一環として実施し、詳細は（一財）東京水産振興会のホームページ（下記URL）に掲載した。

[https://naisuimen.suisan-shinkou.or.jp/pdf/report\\_2303.pdf](https://naisuimen.suisan-shinkou.or.jp/pdf/report_2303.pdf)

（指導環境室）